

協働パイロット事業 (H28) 企画提案書

団体名 : cocore

1 事業の名称

事業所による継続的な授産製品販売店舗 PR 活動のための基盤整備事業

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください)

静岡市では、一般就労が困難な障がい者に経済的な自立を支援するため、授産製品を販売する店舗を葵・駿河区役所 (名称 : わ・ハハ)、清水区役所 (名称 : はなみずき)、イトーヨーカ堂静岡店 (名称 : テルベ) に設置している。しかし、利用者は少なく、周知を図っていく必要がある。

これらの店舗は、複数の事業所が関わって運営されているため、PR 活動をおこなう主体が曖昧で、将来的にもどこか 1 か所の事業所の負担が大きくなるような PR 活動は期待できない。

そこで当団体では、複数の事業所が持ち回りで PR 活動ができるようなシステムと、それを担う人材の育成をおこなう事業を提案する。

具体的には

- ①授産製品販売店舗のホームページと Facebook ページの作成、
- ②各事業所による継続的な Facebook 更新のための基礎研修の実施、
- ③ホームページおよび Facebook ページの告知 (QR コード付きのポスター作成)

を行う。

なお、事業内でモニタリングを行い、本事業終了後にも円滑に PR 活動ができるような基盤を整備していく。

事業の目標としては、ホームページおよび Facebook ページの「いいね！」が、今年度 100、来年度 300 を目指す。

団体名：cocore

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

【当団体の役割】

- ・ホームページおよび Facebook ページの作成
- ・研修会の企画・開催・運営
- ・告知ポスターの作成

【静岡市に担ってほしい役割】

- ・研修会の、事業所への告知と参加への働きかけ
- ・研修会の、会場手配
- ・ポスターを市役所の 1 階待合所など各所に掲載依頼

4 事業計画・実施スケジュール

- 7月 事業所向けの研修会のチラシ作成・告知
- 8月 研修会『『売れない』を『売れる!』にするPRの“ワザ”(仮称)』開催
- ・商品写真の上手な撮影の仕方
 - ・人を引き付ける文章の書き方
 - ・Facebookの基礎知識と更新方法
 - ・実践!イチオシ商品の写真撮影とPR文を書いてみよう
- 9月～10月 ホームページとFacebookページの製作
告知ポスターの作成
- 11月 ホームページ公開
Facebookの運用開始(1事業所1か月に1回更新)
- ポスター掲示
- 11月～1月 更新状況のモニタリング
- 2月 評価と報告

団体名：cocore

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

| 氏名 | 年齢 | 経歴・活動実績 | 役割 |
|------|----|--|--|
| 須田亜紀 | 47 | cocore 代表 元NPO法人しずおか環境教育研究会理事 自閉症児の子に余暇を作ろうプラン企画運営 障害者の新たな仕事創出のモデル事業と障害者 啓発活動（ふじのくにNPO活動基金助成事業） 第18回静岡県授産製品コンクール審査員 など | ○全体統括 ○研修会チラシ作成 ○ホームページ・FaceBook作成 |
| 持山侑子 | 34 | cocore 副代表 障害者福祉施設百花園 放課後支援施設合同の作品展示会「みんなのえ がいたまち」企画・開催など | ○研修会運営 ○更新状況のモニタリング |
| 北條里美 | 45 | 静岡市清水手をつなぐ育成会事務局 相談支援 員 長男（自閉症）のアート作品の展示会を毎年開 催し、自閉症の理解と普及のため尽力 | ○研修会運営 ○更新状況のモニタリング |
| 風間浩一 | 26 | 静岡美術造形学院 塾長 常葉学園大学 造形学部 造形学科（平面造形 表現専攻）卒業 | ○研修会運営 |
| 佐藤 滋 | 47 | 美術教諭 武蔵野美術大学造形学部 彫刻学科卒業 東京芸術大学大学院文化財保存研究室修了 | ○研修会運営 |
| 名倉美紀 | | 会計 | ○研修会運営 ○会計 |

講師・デザイナー

| 氏名 | 所属 | 内容 | 役割 |
|-------|-----------|--|--------|
| 望月やすこ | フォーシーズン | カメラマン お母さんのための写真講座などの講師とし ても活躍 SBS「Sole いいね!」にレギュラー出演 著書「子連れのとだびバ」 | 研修会講師 |
| 永野香里 | フリーライター | 「ほとんど知らなかったグッズと人に出会 える本」（浜松市障害保健福祉課発行・浜松 市の授産品をPRする冊子）執筆 | 研修会講師 |
| 利根川初美 | 823design | グラフィックデザイン&イラストレーショ ン制作 | ポスター制作 |

6 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など)

cocore(ココワ)は、障害のある子の保護者や福祉施設職員、美術教師、デザイナーが集まり、「障害のある人の豊かな感覚や特別な感性を、社会に発信していこう!」と活動している任意団体です。

障がいのある方が描いた作品をモチーフにした雑貨をつくったり、作品展やワークショップを開催したり、講演会の開催や講師派遣、障害の普及・啓蒙活動を行っています。

アートを通じて障害のある人と地域社会をむすびつけ、同じ人として普通に共に生きることができる社会を目指して活動しています。

昨年度、「ふじのくに NPO 活動基金」の助成事業として「障害者の新たな仕事創出のモデル事業と障害者啓発活動」を行い、障害のある方とプロのデザイナーがコラボしたバンダナを制作。それとともに、啓発パンフレットとホームページを作成しました。

また代表である須田は、第 18 回静岡県授産品コンクールの審査員を務めました。

今回の事業では、店舗及び商品 PR のための紙媒体をあえて作らず、常に新しい情報が市民のお手元に届くよう Web と SNS の活用を中心としました。

それらを使いこなせる人材を各事業所に置くことによって、事業終了後も継続的に事業所から情報発信を行うことができるよう工夫しました。このシステムによって事業所間での情報交換もできる仕組みです。

文章の書き方の講師には「ほとんど知らなかったグッズと人に出会える本」(浜松市障害保健福祉課発行・浜松市の授産品を PR する冊子)を執筆された永野さんをお迎えしています。この冊子は障害を特性にとらえ、ありのままの「面白さ」を引き出す様々な工夫がされている冊子で、永野さんの文章が商品と障害者自身を生き生きと紹介しています。

永野さん指導のもと、商品の背景にあるそれを作った人や商品に関わるエピソードを SNS で発信することによって、商品に物語が生まれ、商品の魅力が大幅に増加すると考えています。

また、Web や SNS を PR するポスターを市役所の待合所に設置することで、市役所を利用された方々が商品やサービスの情報をチェックし、帰りに店舗によって購買していくという、人の流れを作り出す工夫をしました。

協働パイロット事業 (H28) 見積書

団体名 : cocore

企画のタイトル : 事業所による継続的な授産製品販売店舗 PR 活動のための基盤整備事業

| 項目 | 金額 | 説明 |
|------------------|---------|--|
| 謝金 | 120,000 | 30,000×3名 (講師2名・デザイナー) イラスト使用料 30,000 |
| 人件費 | 153,600 | チラシ制作 @800×8時間 広報 @800×5時間 研修会 @800×5時間×5人 モニタリング @800×2時間×61日 評価・報告 @800×24時間 打ち合わせ @800×8時間 |
| 交通費 | 10,000 | |
| 消耗品費 | 3,672 | 紙、他 |
| 印刷費 | 16,000 | チラシ 10×100部 ポスター 15,000 (100部) |
| Web制作 | 80,000 | |
| 振込手数料 | 1,728 | @432×4名 |
| 小計 A | 385,000 | |
| 消費税 B = A × 0.08 | 30,800 | |
| 合計 A + B | 415,800 | |

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

| 収入見込み額 | 金額 | 主な用途 |
|--------|----|------|
| | | |